



開学 100 周年に向けて

生涯学びを楽しむ

Enjoy Learning for Life

2015 年度 事業計画書

学校法人 名城大学



目 次

トップメッセージ	1
I MS-26（2015年度～）戦略プラン	2
II MS-26に基づく2015年度の事業計画	4
(1) 名城大学における優先課題	4
(2) 名城大学附属高等学校における優先課題	4
(3) 2015年度事業計画の施策	5
1) 「人材の確保と育成」分野	5
2) 「教育の充実」分野	5
3) 「研究の充実」分野	6
4) 「社会貢献」分野	7
5) 「組織・経営改革（組織・体制整備）」分野	7

トップメッセージ

多様な経験ができる
「学びのコミュニティ」づくりを



理事長 小笠原 日出男

現在、少子高齢化、グローバル化の進展、産業構造の変化など、急速に社会環境が変化する中で、社会が求める人材も多様化、高度化してきています。

そうした中、本学では、立学の精神である「穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する」を普遍的理念と位置付け、今まさに社会が求めるバランス感覚と実行力を兼ね備えた人材の育成に努めてきました。2004年には、2015年を目標年とする「学校法人名城大学における基本戦略について（Meijo Strategy-2015）」（MS-15と通称）を策定。大学、附属高等学校それぞれにおいて「広く社会に開かれた日本屈指の文理融合型総合大学」、「生徒の夢を育む愛知県下NO.1の私立高等学校」をビジョンとして掲げ、その実現に向けて取り組んできました。その成果は、2013年度の実就職率において、卒業生2,000名以上の全国私大トップ（大学院修了者を含まない）、2014年にはリクルート進学総研調べの「志願したい大学ランキング（東海エリア）」において1位になるなどの形で表れてきました。附属高等学校においても、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業と、スーパーグローバルハイスクール（SGH）事業に採択されるなど、様々な成果として表れてきています。

また、2014年10月には、本学理工学研究科の赤崎勇終身教授がノーベル物理学賞を受賞され、本学の研究力の高さを国内外に示すこととなりました。

一方、中等教育・高等教育を取り巻く環境に目を向けますと、より一層厳しさが増しており、予測困難な社会を生き抜く人材を育成するため、教育のあり方の見直しも強く求められています。本学では、MS-15の目標年を迎えたことに加え、これまでの取り組みを更に発展させることを目的として、開学100周年の2026年を目標年とする新たな戦略プランとして「Meijo Strategy-2026」（MS-26と通称）を策定しました。MS-26戦略プランでは、本学の創設から、今日まで築いてきた精神を「生涯学びを楽しむ」という言葉に託し、私たちが常に心に刻む価値観として掲げました。この価値観には、全ての学生・生徒が、本学の教育を通じて「学ぶ楽しさ」に気づき、人生を楽しみながら生涯学び続けてほしいという願いが込められています。社会が大きく変化する環境においては、必ずしも在学時の学びだけでは十分とは言えないことから、卒業後の人生も見据えた教育を展望しています。

この価値観を基本として、大学では「多様な経験を通して、学生が大きく羽ばたく『学びのコミュニティ』を創り広げる」、附属高等学校では「『多様な経験』を創り出す『挑戦する学校』」を将来像として設定しました。大学では、キャンパス内外での様々な人たちとの出会いや経験を通じて、学生が学び続けられるコミュニティの場を提供し続けること、附属高等学校では、生徒に多様な経験を提供し、常に挑戦し続ける高校を目指すことが、その意味するところ です。

2016年には開学90周年を迎えるとともに、ナゴヤドーム前キャンパスの開設、外国語学部の設置などを予定しており、本学は既に大きく動き始めています。開学100周年を見据えた「MS-26」を軸に、様々な改革を進め、学生・生徒が本学を卒業して良かったと思える大学や学校づくりを目指して取り組んでいきますので、引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。

2015年3月

I MS—26 (2015年度～) 戦略プラン



学長 吉久 光一

2015—2026

MS—26 (2015年度～) 戦略プラン [大学]

2015—2026

MS-26 戦略プラン

—開学 100 周年に向けて—

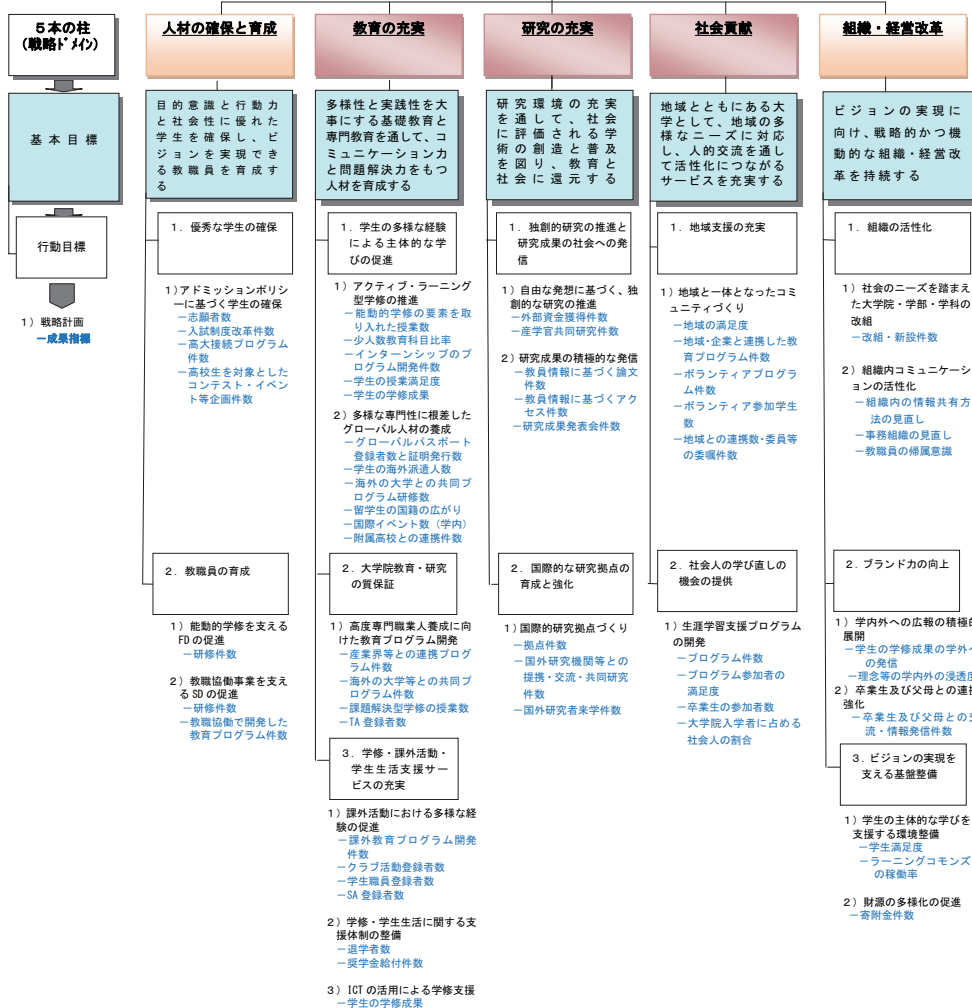
立学の精神：「**確健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する**」

[大学・高校に関わる全ての人道と共有したい価値観]
生涯学びを楽しむ・・・「**Enjoy Learning for Life**」

Vision：多様な経験を通して、学生が大きく羽ばたく「**学びのコミュニティ**」を創り広げる

Mission：(教育ミッション) 主体的に学び続ける「**実行力ある教養人**」を育てる
(研究ミッション) 「**学問の探究と理論の応用**」を通して、**成果を教育と社会に還元する**
(社会貢献ミッション) **社会との「人的交流」**を通して、**地域の活性化に貢献する**

Key Performance Indicators (KPI)：学生の大学に対する満足度、学生の学修成果、就職満足度、卒業後の帰属意識、教職員の帰属意識



2015-2026

MS-26 (2015年度～) 戦略プラン[附属高等学校]



学校長 高須 勝行

2015-2026 MS-26 戦略プラン
-開学100周年に向けて-

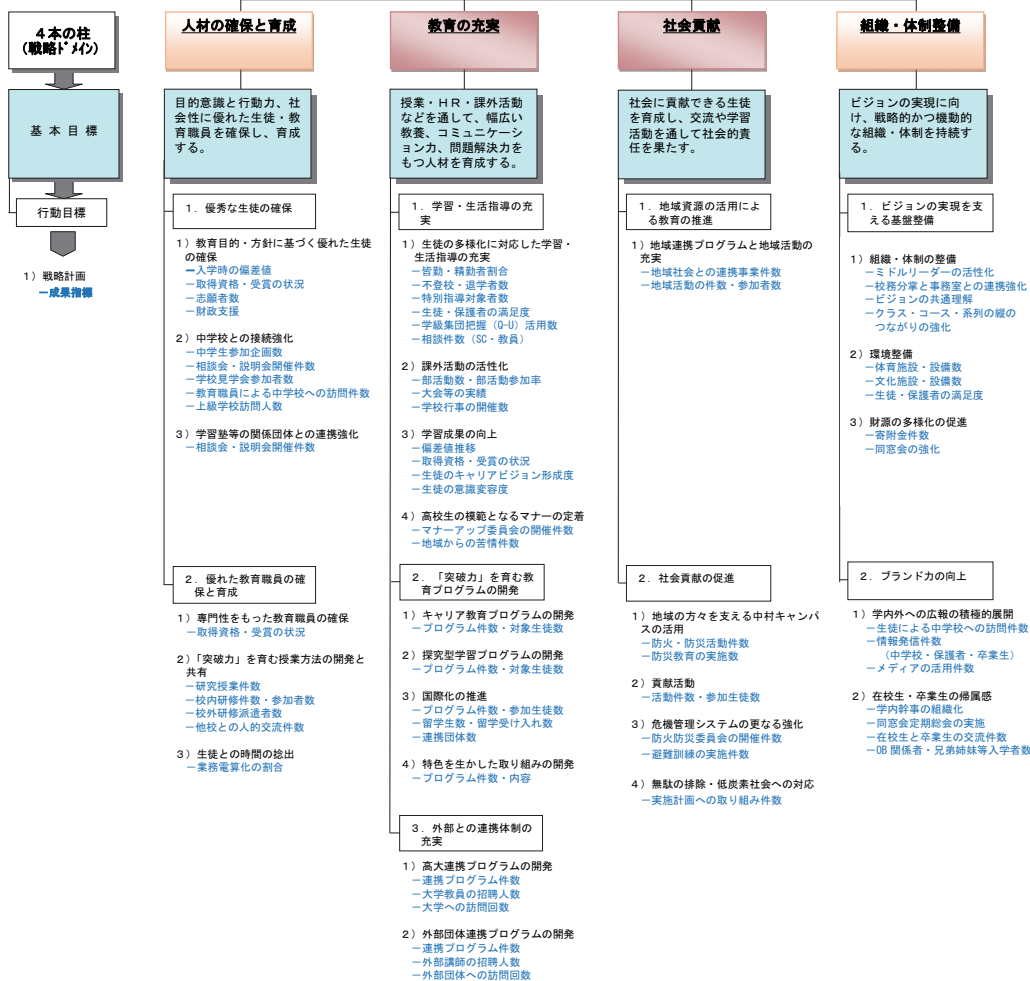
立学の精神：「穩健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する」

[大学・高校に関わる全ての人と共有したい価値観]
生涯学びを楽しむ・・・「Enjoy Learning for Life」

Vision：「多様な経験」を創り出す「挑戦する学校」

Mission： (教育ミッション)「主体的に学ぶ力」と「突破力」を備えた生徒を育成する
(社会貢献ミッション)「人的交流」や「学習活動」を通して、社会的責任を果たす

Key Performance Indicators (KPI)：卒業後の帰属意識、生徒・保護者の学校に対する満足度



Ⅱ MS—26に基づく2015年度の事業計画

本学が掲げる価値観「生涯学びを楽しむ」を踏まえ、2015年度は、次のテーマを重要課題として優先的に取り組みます。

- 開学100周年（2026年）をマイルストーンとするビジョン
（名城大学）

多様な経験を通して、学生が大きく羽ばたく「学びのコミュニティ」を創り広げる
（名城大学附属高等学校）

「多様な経験」を創り出す「挑戦する学校」

（1）名城大学における優先課題

- 1) アドミッションポリシーに基づく学生の確保
- 2) 能動的学修を支えるFDの促進
- 3) アクティブ・ラーニング型学修の推進
- 4) 多様な専門性に根差したグローバル人材の養成
- 5) 課外活動における多様な経験の促進
- 6) 国際的研究拠点づくり

（2）名城大学附属高等学校における優先課題

- 1) 教育目的・方針に基づく優れた生徒の確保
- 2) 「突破力」を育む授業方法の開発と共有
- 3) 生徒の多様化に対応した学習・生活指導の充実
- 4) キャリア教育プログラムの開発
- 5) 探究型学習プログラムの開発
- 6) 国際化の推進



(3) 2015年度事業計画の施策

2015年度事業計画の施策を次のとおり掲げます。

1) 「人材の確保と育成」分野

《大学・高校》

- 国内外の優れた学生・生徒及び教職員の確保に向けた取り組みを支援する。
 - ・入試制度の改革を支援する。

- 教職協働事業を進めるため、事務職員の人材高度化を目指すSD (Staff Development) を支援する。

《大学》

- 能動的学修を支えるFD (Faculty Development) 活動の実質化策を支援する。
 - ・各学部等のFD活動の強化策を支援する。
 - ・学修成果を可視化するアセスメント開発を支援する。

《高校》

- 「突破力」を育む授業方法の開発や共有を推進する取り組みを支援する。
 - ・ビジョンを実現する授業方法の継続的な開発を支援する。
 - ・他校との人的交流プログラムの開発を支援する。

2) 「教育の充実」分野

《大学・高校》

- 高大連携体制の充実を支援する。

《大学》

- ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー及びアドミッションポリシーとの一貫性を担保した、体系的なカリキュラム運営を支援する。

- 学生の主体的な学びの促進に向け、アクティブ・ラーニング型学修の導入を支援する。

- 学士課程教育の質向上に向けて、特色ある教育拠点づくりを支援する。

- 内部質保証を前提とした自己点検・評価制度の再構築を支援する。

- 多様な専門性に根差したグローバル人材の養成に向けたプログラム開発等を支援する。

- 大学院における国際的通用性の高い教育研究プログラムを支援する。

- 教職免許状取得に係る充実策を支援する。
- 教育に係る外部資金の獲得を奨励し、支援する。
- 課外活動における多様な経験の創出を支援する。
- キャリア自己開発の観点から、進路・就職力の向上策を支援する。
 - ・就職満足度向上に向けた取り組みを支援する。
 - ・公務員・各種資格取得の合格実績の向上に向けた取り組みを支援する。
- 学生の満足度向上に向けた学生支援の充実策を支援する。
 - ・退学者数の減少に向けた取り組みを支援する。

《高校》

- 生徒の多様化に対応した学習・生活指導の充実に向けた取り組みを支援する。
 - ・総合的なカウンセリングの充実を図るための支援体制の強化を支援する。
 - ・課外活動の活性化を支援する。
- 「突破力」を育む教育プログラムの開発を支援する。
 - ・キャリア教育プログラムの開発を支援する。
 - ・探究型学習プログラムの開発を支援する。
 - ・国際交流プログラムの充実を支援する。
 - ・学科・コースでの特徴的な取り組みの全校展開を支援する。
 - ・外部団体連携プログラムの開発を支援する。

3) 「研究の充実」分野

《大学》

- 国際的研究拠点づくりを支援する。
 - ・LED共同研究センターに係る共同研究の推進を支援する。
- 自由な発想に基づく、独創的な研究の推進を支援する。
- 教員の研究シーズを発掘し、新しい製品やサービス・事業を生み出すため、企業及び各省庁等との連携を支援する。
- 研究成果の社会への積極的な情報発信を支援する。
- 外部研究資金の獲得を奨励し、支援する。

4) 「社会貢献」分野

《大学》

- 地域と一体となったコミュニティづくりを目指す取り組みを支援する。
 - ・「社会連携センター（仮称）」の設置に向けた検討を進める。
 - ・地域と在学生とが交流するコミュニティの構築に向けた取り組みを支援する。

- 地域生涯学習プログラムに対する拠点づくりを支援する。

《高校》

- 地域社会との交流促進を支援する。

5) 「組織・経営改革（組織・体制整備）」分野

《大学・高校》

- 「MS-26戦略プラン」を踏まえた組織の活性化策に取り組む。

- 卒業生（名城大学校友会）及び父母（保護者）との総合的な交流の促進を支援する。

- ガバナンス体制の再構築に取り組む。
 - ・学長及び学部長の選考方法の検討を進める。
 - ・高校運営会議を核とするマネジメント体制の確立を進める。

- 本学の強みを意識した学内外への広報に取り組む。

- 社会的責任を踏まえた危機管理体制の構築に取り組む。

- 施設設備の充実に向けて、再開発計画の実行と評価に取り組む。
 - ・ナゴヤドーム前キャンパスの施設建設
 - ・新校友会館（仮称）の建設
 - ・春日井（鷹来）新本館（仮称）の建設
 - ・天白4・11号館改修工事
 - ・八事6号館解体工事
 - ・附属図書館のリニューアルについて検討
 - ・主体的学びを支援する環境整備の検討
 - ・中村キャンパス（附属高等学校）再開発計画の検討

- 投資財源の確保に向けて、財源の多様化及び収支構造の改善を促進する。

《大学》

- 外国語学部 国際英語学科の設置（2016年度設置予定）に向けて取り組む。

- 都市情報学部、都市情報学研究科、人間学部及び人間学研究科のナゴヤドーム前キャンパスへの移転の準備を継続して取り組む。

- 可児キャンパスの活用方法について、継続的に検討を進める。

- 組織マネジメントの観点から、教職協働を踏まえた組織改革に取り組む。
 - ・事務組織改革について、検討を進める。

- 人材のプロフェッショナル化を促す人事考課制度の導入、給与体系の見直しに取り組む。



連絡先

名城大学 経営本部 総合政策部

TEL : (052)838-2005

FAX : (052)832-2317

E-Mail : oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

